

『さみしい』『死にたい』と向き合う

～今、求められる支援とは～

9月1日
(土)

浜離宮朝日ホール 13:00～16:00

東京都中央区築地5丁目3-2 朝日新聞東京本社 新館
(都営大江戸線「築地市場駅」直結)



イラスト/Katsuma Fumika



司会：荻上チキ

(評論家・NHK Eテレ『ハートネットTV』コメンテーター)

第1部

「なぜ今、安心できる居場所がないのか？」

出演：松本 俊彦 (精神科医)、伊藤 次郎 (NPO法人OVA代表理事)

第2部

「自助グループメンバーと考える『安心できる居場所』に必要なこと」

出演：松本 俊彦、伊藤 次郎、ほか自助グループ代表の方々

定員：400人 (入場無料・申し込み方法は裏面へ)

出演者

司会



まつもと としひこ
松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長

1967年生まれ。佐賀医科大学医学部卒業後、横浜市立大学医学部付属病院精神科、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター副センター長などを経て、2015年より現職。
著書に「自傷・自殺のことがわかる本 自分を傷つけない生き方のレッスン」(講談社)「もしも『死にたい』と言われたら 自殺リスクの評価と対応」(中外医学社)がある。

おぎうえ
荻上 チキ



評論家・編集者

1981年生まれ。政治経済から社会問題、文化現象まで幅広い分野で取材・評論活動を行っている。
ラジオ番組のキャスターやウェブメディアの編集長も務める。
近著に『いじめを生む教室 子どもを守るために知っておきたいデータと知識』(PHP新書)、『日本の大問題 残酷な日本の未来を変える22の方法』(ダイヤモンド社)など。



いとう じろう
伊藤 次郎

NPO法人OVA 代表理事

学習院大学法学部卒業後、人事コンサルティングや精神科クリニックにて働く人のメンタルヘルス対策に従事。
2013年、日本の若者の自殺が深刻な状況にあることに問題意識を持つようになり、マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者ヘリーチしようと「夜回り2.0」の手法を開発・実施。NPO法人OVAを設立。

申し込み方法

- ①名前(必ず個人名を記入) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④参加人数
 - ⑤一緒に参加する方の名前(複数名の参加を希望される場合)
- をご記入のうえ、次のいずれかの方法でお申し込みください。
お申し込みが定員に達し次第、締め切らせていただきます。

参加無料
先着
400人

※ お申し込みの方には **8月中旬より順次、入場整理券を郵送します**。入場整理券が届かない場合は、8/30(木)までにお問い合わせください。
※ 個人情報は適正に管理し、このフォーラムに関するご連絡のみに使用します。

はがき



〒150-0041 渋谷区神南1-4-1第七共同ビル
NHK厚生文化事業団「9/1 東京フォーラム」係

FAX



[FAX番号] **03-3476-5956**
NHK厚生文化事業団「9/1 東京フォーラム」係

メール



NHK厚生文化事業団のホームページ <https://www.npwo.or.jp/> の本フォーラムの募集ページから、申し込みフォームに必要事項を記入して送信してください。

FAXの場合は、下記欄をご記入のうえ、そのままお送りいただいても結構です。

FAX 03-3476-5956

番号はお間違えのないようお願いいたします

9/1 東京フォーラム係

名前

(ふりがな)

※必ず個人名を記入してください。

住所
電話番号

〒

電話番号()

※勤務先住所の場合は、勤務先名称も忘れずにお書きください。

フォーラムで知りたいことがあればお書きください。
(すべてのご要望におこたえすることはできませんが、制作の参考にさせていただきます。)

一緒に参加する方の名前

合計 人

車いすをご利用の場合や、特定の対応が必要な場合は下記へご連絡ください。